

新型コロナウイルスのパンデミックから 2 年間

杉山精一（日本ヘルスケア歯科学会代表）

昨年のヘルスケアミーティング後は、新型コロナウイルス感染者数も減少して、このまま落ち着くのかという期待もありましたが、新年になるとオミクロン株による感染が急増し、1日あたり全国で5万人を超えると報告されています（1月24日現在）。オミクロン株の感染力は強いですが無症状や軽症の方が多く、もしかしたら多くの人に感染し、社会的免疫を獲得して終息に向かうのではないかと期待もされていますが、現時点では予断を許さない状況だと思います。世界的なパンデミックになってすでに2年あまり経ちましたが、皆さんの診療所はどのように対応して診療をされていますか。

私の医院のメンテナンス患者さんの来院者数をグラフにしてみました。コロナが始まった2020年は、4月の緊急事態宣言から6月までは、メンテナンス治療を中止しましたので、来院者数も減少しました。この期間、スタッフの仕事に余裕ができたので、感染予防策の見直しを行いました。特に、歯科の治療はほぼすべてが唾液に触れる治療です。以前はこの唾液に対する対策が十分でなかったため、この機会に、徹底的に見直しをしました。ヘルスケア歯科診療に必須の口腔内規格写真撮影、X線撮影、さらに治療の際に触れる部分、印象操作など、幅広く、できるだけコストをかけないように市販のものを活用する方針で行いました。7月のメンテナンス再開までに対策を終えて、その後の新たな変異株による感染の波がおきても、来院者は減少しませんでした。定期的きちんとメンテナンスに来院される方は、健康意識が高い方が多いです。「ちょっと行くのが心配でしたが、きちんとされていて安心しました」、唾液中にウイルスが存在していることを知った方も多く「歯科は大変ですね、でもこれなら安心です」などの声もいただくことができました。医院としても安心安全な医療の提供が、患者さんとの信頼関係を高めることを実感することになりました。

学会の活動は、2020年の夏頃からZoomを活用したwebによるセミナーの開催が中心になりました。Webセミナーをサポートするweb委員会も立ち上がり、回を重ねながら、順調に開催できるようになりました。私も、カリエスマネジメントセミナーを2020年、2021年と7回シリーズで行いました。開催時間が夜のため、振り返り配信を活用して院内ミーティングやスタッフが自宅で視聴したということを多数聞きました。従来だと、休みの日に都会まで出向いて1日セミナーに参加するというのが一般的でしたが、Zoomと動画配信だと、地方にいても、時間外研修が困難な家庭の主婦でも、参加の機会が増えたようです。その結果、レベルアップを図ることができた診療所もあるようで大変嬉しいです。

2022年は、主にコアメンバーが中心の企画委員会で新たなwebセミナーの開催を予定しています。昨年からのリエスマネジメントセミナーはいつでも学べるeラーニング方式へ（4月頃スタート予定）、新たにヘルスケア歯科診療に必要なペリオセミナー（3回シリーズで4月スタート予定）、認証取得を目指す医院向けセミナー、歯科衛生士によるセミナーなど盛りだくさんです。開催については、ニュースレター、メールマガジン、LINE、ホームページなどをチェックしてください。そして、自分に必要な、医院に必要なセミナーを見つけて参加して医院のレベルアップに活用してください。

ヘルスケアミーティング2022は、東京・田町の建築会館ホールのリアル参加とオンライン（Zoom）のハイブリッド方式で、10月9、10日の2日間開催の予定で準備を進めています。メインテーマは、高齢者です。パンデミックが終息していれば、交流会や懇親会も開催したいと考えています。詳細は今後のニュースレター等でお知らせします。

2022.2.25